

2. 3 化学グランプリチャレンジ

(1) 研究開発の課題（研究概要・ねらい）

論理的に原子・分子の構造や化学反応を捉え、さらにはそこから有機化学を論理的に考えることにより、暗記に頼りがちな有機分野への興味や理解が深まると考えた。

(2) 研究開発の経緯

高校化学では学ばない発展的な所まで踏み込んで原子の構造から分子、高分子と物質の構造を論理的に考えさせるような講義を依頼した。

(3) 研究開発の内容

ア 研究の内容・方法

化学グランプリに向けたレベルの高い内容を実験や最新の研究事例の話をまじえながら扱った。

イ 連携先 横浜国立大学

教授 松本 真哉 先生
名古屋大学
教授 山口 茂弘 先生
特任講師 佐藤 綾人 先生
上智大学



講義の様子

准教授 藤田 正博 先生

ウ 参加生徒

第1回 生徒34名(岡崎7名、刈谷3名、五条4名、一宮20名)
教員 3名(刈谷1名、一宮2名)
第2回 生徒38名(五条8名、名城附1名、明和5名、一宮24名)
教員 3名(明和 1名、一宮2名)
第3回 生徒27名(岡崎12名、名城附1名、一宮14名)
教員 2名(一宮2名)

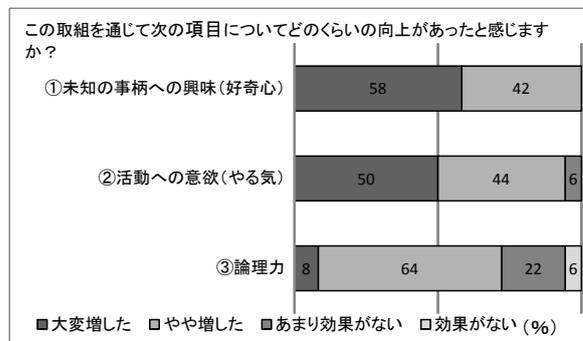
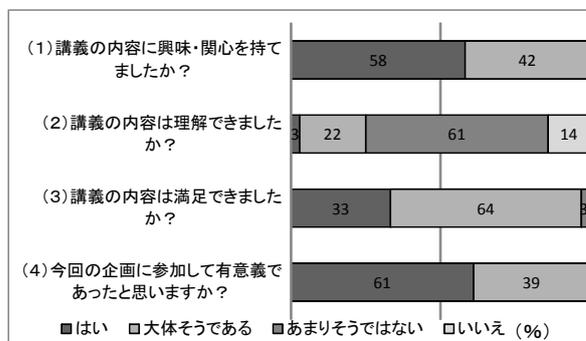
エ 日時場所

第1回 平成27年6月7日(日) 第2回 6月13日(土)
第3回 7月5日(日) 本校 化学講義室(第2回は名古屋大学)

オ 実施内容

第1回「色と分子」 第2回「分子を感じる力“モレキュリアス”を育む」
第3回「生活を支える高分子」

カ 検証（成果と反省）



アンケートからは参加した生徒の興味・関心は高いことがうかがえる。理解度はやや低いようにも思われるが、生徒の満足度も高く充実したものとなった。理解の不十分な生徒には後日解説を配布した。